

ブラックロック・ グローバル・フレキシブル・ バランス・ファンド

第37期末(2025年10月20日決算)	
基準価額	28,287円
純資産総額	2,773百万円
騰落率	24.2%
分配金	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

追加型投信／海外／資産複合 交付運用報告書

第37期(2025年10月20日決算)

作成対象期間(2025年4月22日～2025年10月20日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ブラックロック・グローバル・フレキシブル・バランス・ファンド」は、このたび、第37期の決算を行いました。

当ファンドは、主として世界の株式、債券および短期証券に分散投資する投資信託証券を投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、今期の運用経過について、ご報告いたします。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問い合わせ先

電話番号:03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00～17:00)

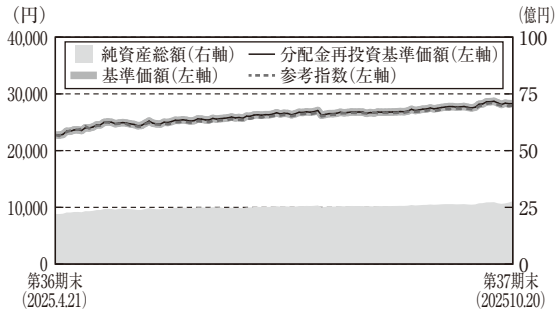
ホームページアドレス

www.blackrock.com/jp/

- 当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「ファンド・ETF情報」、「投資信託」から当ファンドのファンド名を選択することにより、当ファンドの「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 「運用報告書(全体版)」は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◇運用経過

■当期中の基準価額等の推移について（第37期：2025年4月22日～2025年10月20日）



■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は24.2%上昇しました。当期、主要投資対象ファンドである「BGF グローバル・アロケーション・ファンド」が17.6%上昇したことに加え、当該ファンドは米ドル建てのため、米ドルが円に対して上昇したこともプラス要因となりました。

■主要投資対象ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
BGF グローバル・アロケーション・ファンド	17.6%

- * 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- * 参考指数は、複合インデックスです。詳細につきましては後記をご覧ください。
- * 分配金再投資基準価額および参考指数は、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

■1万口当りの費用明細

項目	第37期 (2025.4.22～2025.10.20)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	220	0.839	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は26,165円です。
(投信会社)	(108)	(0.411)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(108)	(0.411)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(4)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(c) 有価証券取引税	-	-	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	22	0.085	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(8)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(印刷費用・監査費用等)	(14)	(0.055)	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	242	0.924	

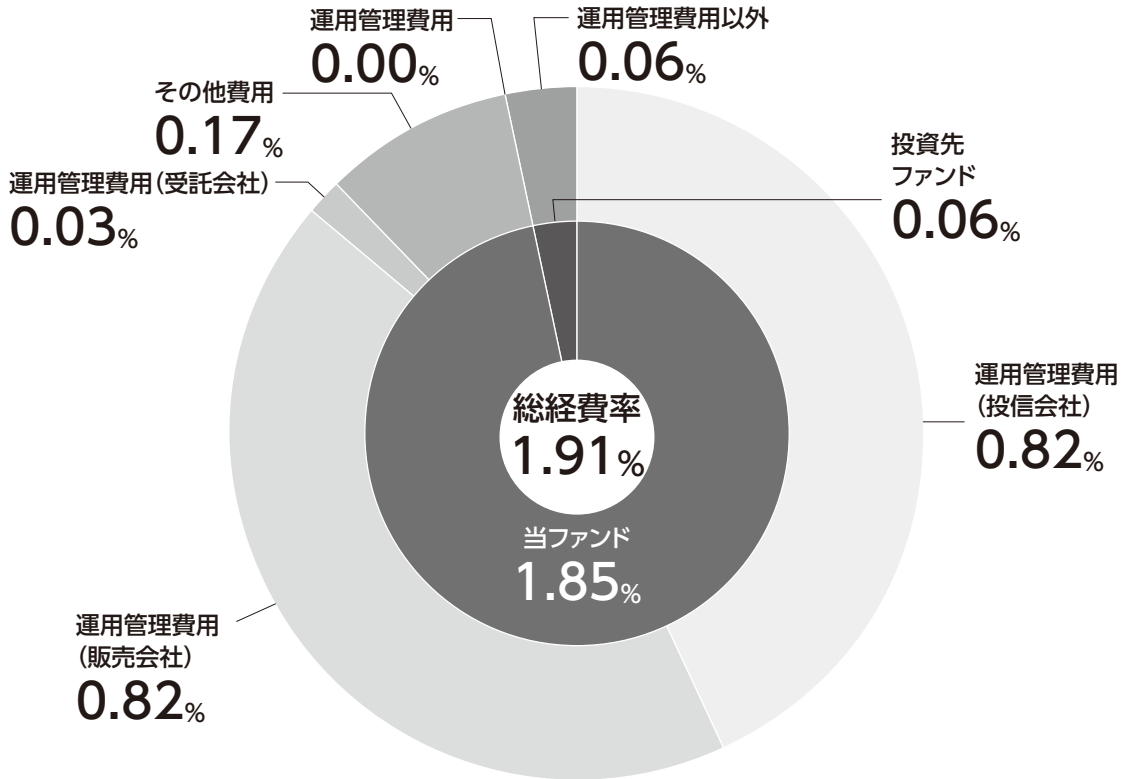
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.91%です。

総経費率(①+②+③)	1.91%
①当ファンドの費用の比率	1.85%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

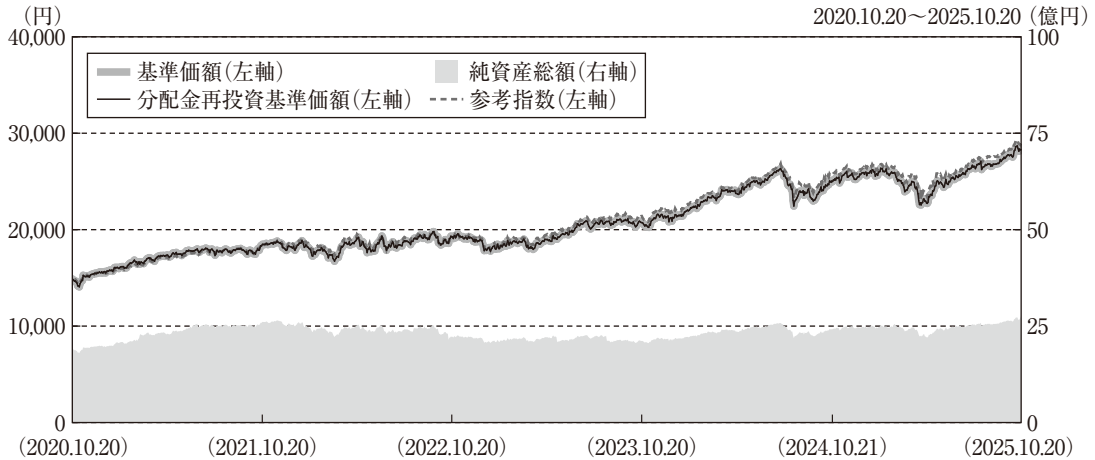
(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5)①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年10月20日の基準価額をもとに指数化したものです。
 * 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2020年10月20日 期初	2021年10月20日 決算日	2022年10月20日 決算日	2023年10月20日 決算日	2024年10月21日 決算日	2025年10月20日 決算日
基準価額(分配落) (円)	14,905	18,480	19,238	20,614	24,985	28,287
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	24.0	4.1	7.2	21.2	13.2
複合インデックス 騰落率 (%)	—	24.4	3.8	9.7	21.9	12.4
純資産総額 (百万円)	1,908	2,608	2,221	2,102	2,416	2,773

*参考指数は、複合インデックスです。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

- 参考指数に関して
 - ・複合インデックスとは、以下の指数を円換算し、それぞれの割合で合成した指数です。
 - ・S&P500種指数36%、FTSE World Index (Ex-US) 24%、5Yr US Treasury Note 24%、FTSE Non-USD World Govt Bond Index16%。
 - ・複合インデックスを構成する指数は、各種金融機関等で公表されており、その機関等の知的財産です。またこれらの機関等は、当ファンドの運用成果等に関する一切の責任を負いません。
 - ・S&P500種指数は、米国の上場、店頭銘柄のうち主要業種から選ばれた500銘柄で構成される市場全体の動きを表す代表的な指数であり、時価総額加重平均指数です。S&P500は、スタンダード&プアーズ・ファイナンシャル・サービスLLCの登録商標です。
 - ・FTSE World Index (Ex-US) は、FTSEインターナショナルリミテッドにより算出される指数です。FTSE®は、ロンドン証券取引所 (London Stock Exchange Plc) およびフィナンシャル・タイムズ社 (The Financial Times Limited) の商標であり、ライセンスに基づいてFTSEが使用しています。FTSEの指数 (インデックス) は、いずれもFTSEの商標であり、そのあらゆる権利はFTSEおよび/又は、その許諾者に帰属します。すべての情報は、参考のために提供されるだけです。FTSEは、FTSEの指数又はその基礎データのいかなる誤りもしくは欠落等に関して一切責任を負うものではありません。
 - ・FTSE Non-USD World Govt Bond Indexは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

投資環境について

<グローバル株式市場>

世界の株式市場は当期、上昇しました。期初は継続的に関税ヘッドラインに株価が振られる局面が見られたものの、7月に欧米と日米間の通商交渉が合意に至ったことから関税懸念は後退し、株価は上昇基調で推移しました。また、トランプ大統領肝いりの減税法案「1つの大きく美しい法案(One Big Beautiful Bill)」が7月に成立したことも市場に好感され、市場最高値を更新しました。期の後半に入っても、企業決算が概ね堅調に推移したことや、9月のFOMC(米連邦市場委員会)における利下げが確実視されたこと等がリスクセンチメントを後押しし、株式市場は堅調に推移しました。

<グローバル債券市場>

債券市場では、期中金利が低下(債券価格上昇)しました。期初、関税交渉に関しては米中の90日間の関税引き下げ合意が発表されたことで金利は上昇しましたが、その後中東情勢の悪化によって金利は低下に転じました。7月には、関税をめぐる通商交渉が相次いで合意に至ったことで不透明感が後退し、金利は再び上昇しました。しかし8月には、米雇用統計が予想を大きく下回ったことから労働市場の減速懸念が強まり、金利は再び低下しました。期末にかけては9月のFOMCでの利下げ観測が一段と強まったことで、金利は低下基調を維持しました。

ポートフォリオについて

<当ファンド>

当期、当ファンドは、主要投資対象である「BGF グローバル・アロケーション・ファンド」を高位に、「BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド」を低位に組み入れた運用を行いました。

投資先ファンドにおける運用経過は以下の通りです。

<BGF グローバル・アロケーション・ファンド>

- 株式ポートフォリオに関しては、株式市場が堅調に推移するなか、参考指標対比でアンダーウェイトからオーバーウェイトに調整しました。長期的な構造的トレンド

ドを見据え、業績が安定的に成長すると考えられる企業を選別的に保有しています。セクター別では、通信サービス、一般消費財、情報技術等を中心にオーバーウェイトとしました。

- セクターのポジショニングでは、AI、オートメーション、生産性向上といった分野でイノベーションを牽引する高品質グロース企業を中心に構築しています。通信サービスセクターはAIの普及によって長期的に最も大きな恩恵を受けると見ており、ライブイベント、ゲーム、インターネット、マスメディア、ストーリーミングなど幅広い関連分野を選好しています。これらの企業は、強固な売上成長とフリーキャッシュフロー創出能力を有し、グローバルに代替が難しい存在であり、長期的なリターンが期待できると考えています。他にも、ヘルスケア、エネルギーなどのセクターにもエクスポージャーを分散しています。
- 債券ポートフォリオに関しては、雇用の伸び鈍化や求人件数の減少を背景に、FRB(米連邦準備制度理事会)は年末までにさらに1~2回の利下げを実施する可能性があると考えています。こうした環境下で、2025年9月末におけるポートフォリオ全体のデュレーションを2.2年とし、参照ベンチマーク対比で小幅なアンダーウェイトを維持しました。
- 現金等については、株式やクレジット資産に資金を振り向ける中で低位の保有とし、ポートフォリオ全体のリスク特性を戦略的に管理しています。

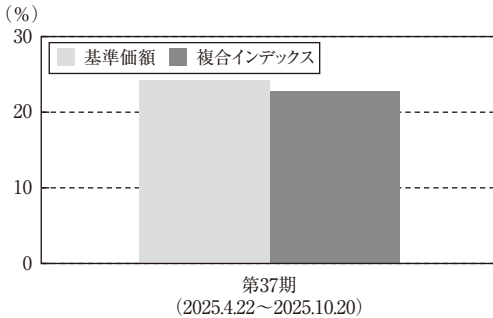
<BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド>

主に米ドル建ての短期の投資適格債に投資することで、トータル・リターンの最大化を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

■基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



分配金について

収益分配は基準価額水準、市場動向等を勘案して見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期
	2025年4月22日 ～2025年10月20日
当期分配金(税込み)	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	18,287

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<当ファンド>

引き続き主要投資対象ファンドである「BGF グローバル・アロケーション・ファンド」を高位に組入れる運用を行う方針です。

投資先ファンドにおける市場見通しおよび今後の運用方針は以下の通りです。

<BGF グローバル・アロケーション・ファンド>

全体として、市場は米国の通商政策をめぐる不透明感にもうまく対応しており、特に米国企業は生産性の向上や経営効率の改善を背景に、堅調な利益成長を維持しています。AI関連分野への大規模な企業投資は、AIインフラを提供する企業の収益およびキャッシュフローを押し上げると同時に、幅広い業種で業務効率化を促進しており、その効果が四半期決算にも現れ始めています。売上成長率と利益成長率の乖離は、AI導入によるコスト削減効果の大きさを反映している可能性があります。当ファンドでは、引き続き売上成長が堅調で、潤沢なフリーキャッシュフローを有し、AIの進展から恩恵を受ける長期的成長企業に注目しています。

債券については、FRBが物価安定よりも「完全雇用の維持」を優先するスタンスに移行する中、利下げを継続する可能性が高いと考え、デュレーションはベンチマークに近い水準を維持しています。スプレッド資産については、利回りが依然として魅力的な水準にあり、ポートフォリオ全体の安定性を高める効果が期待されます。当ファンドは、安定したインカム資産と確信度の高いグロース株を組み合わせる「バーベル戦略」を通じて、柔軟で分散されたポートフォリオの構築に努める方針です。

<BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド>

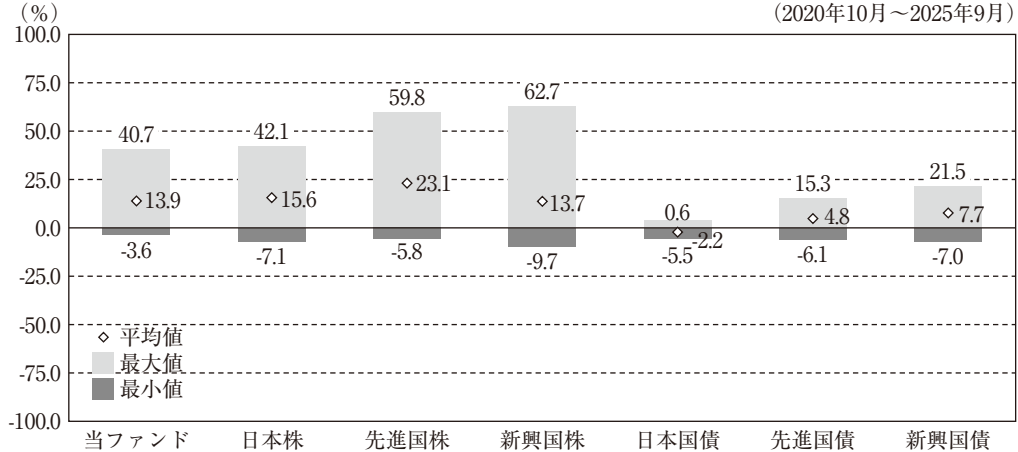
当ファンドは、引き続き主に米ドル建ての短期の投資適格債に投資することで、トータル・リターンを最大化を目指した運用を行う方針です。

◇当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	無期限(設定日:2007年6月29日)
決算日	4月20日および10月20日(ただし休業日の場合は翌営業日)
運用方針	<p>①主として「ブラックロック・グローバル・ファンズ(ルクセンブルグ籍証券投資法人) グローバル・アロケーション・ファンド クラスJ 投資証券」および「ブラックロック・グローバル・ファンズ(ルクセンブルグ籍証券投資法人) USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド クラスX投資証券」(以下各々を「BGF グローバル・アロケーション・ファンド」および「BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド」といいます。)への投資を通じて、投資信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。</p> <p>②外貨建資産については、原則為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	<p>当ファンドは、「BGF グローバル・アロケーション・ファンド」および「BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド」に投資します。</p> <p>「BGF グローバル・アロケーション・ファンド」を主要投資対象ファンドとし、その組入比率を高位に保ちます。</p>
運用方法	主として世界の株式、債券および短期証券に分散投資する投資信託証券を投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。
分配方針	<p>年2回の毎決算時(4月20日および10月20日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲として分配を行います。 ■ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ■ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 <p>※基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

(参考情報)

◇代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*上記は、2020年10月～2025年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*上記の騰落率は直近月末から60カ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株……MSCIコクサイ指数 (配当込み、円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国債……FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債……J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

<各指数について>

東証株価指数(TOPIX) (配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。東証株価指数(TOPIX) (配当込み)の指数値および東証株価指数(TOPIX) (配当込み)に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX) (配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX) (配当込み)に係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX) (配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

◇ファンドデータ

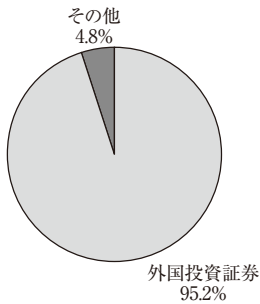
■当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

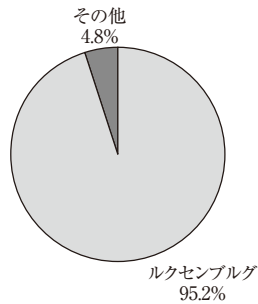
	比率
BGF グローバル・アロケーション・ファンド	94.3%
BGF US ダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド	0.9
その他	4.8

(注) 比率は第37期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

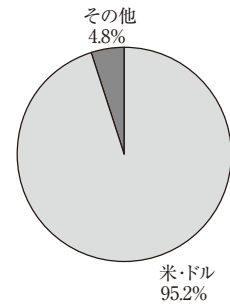
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第37期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

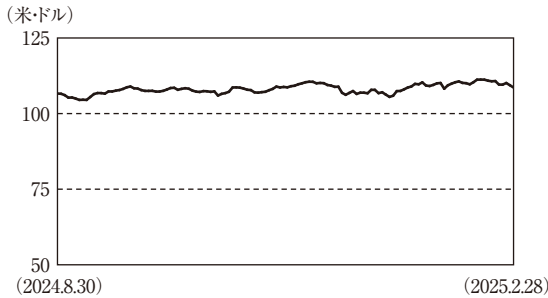
項目	当期末
	2025年10月20日
純資産総額	2,773,713,751 円
受益権総口数	980,544,778 口
1万口当り基準価額	28,287 円

* 当期中における追加設定元本額は52,923,739円、同解約元本額は43,079,311円です。

■組入上位ファンドの概要

◆BGF グローバル・アロケーション・ファンド

○基準価額の推移



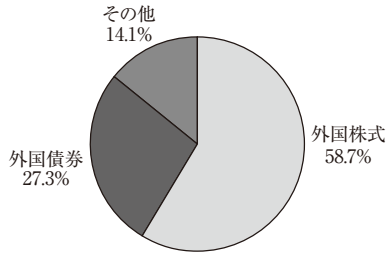
○上位 10 銘柄

銘柄名	通貨	比率
NVIDIA CORP	米・ドル	2.4%
MICROSOFT CORP	米・ドル	2.0
AMAZON COM INC	米・ドル	2.0
APPLE INC	米・ドル	1.9
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 2.3 02/15/2033	ユーロ	1.8
ALPHABET INC CLASS C	米・ドル	1.7
META PLATFORMS INC CLASS A	米・ドル	1.5
TREASURY NOTE 4.125 07/31/2028	米・ドル	1.3
UK CONV GILT 1.25 07/22/2027	英・ポンド	1.2
AUSTRALIA (COMMONWEALTH OF) 1 11/21/2031	豪・ドル	1.1
組入銘柄数	1,865銘柄	

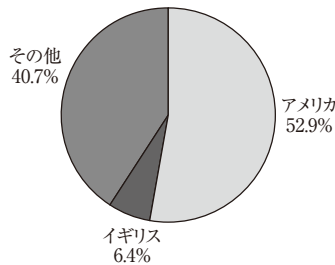
○1万口当りの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

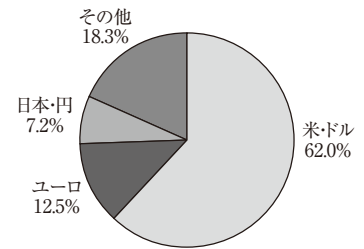
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。上記ファンドの管理会社で作成しているデータに基づく運用報告書(全体版)の参考情報と相違する場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。